

自動車販売店向けInstagram集客成功事例セミナー

社長とSNS担当者直伝



自動車販売店が
Instagramで
経営者は顔出しせず

たった
2ヶ月で!
新規
フォロワーを!
1,200人増やす方法
大公開セミナー

短期間でフォロワー獲得!? 経営者が語るメソッドは中面へ

主催 サステナグロースカンパニーをもっと。 Funai Soken 自動車販売店向け Instagram集客成功事例セミナー お問い合わせNo. S112614
船井総研セミナー事務局 E-mail : seminar271@funaisoken.co.jp

当社ホームページからお申込みいただけます。(船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp] 右上検索窓に「お問い合わせNo.」を入力ください。) → 112614

開催要項

東京会場

2024年5月14日(火)

お申込み期限: 2024年5月10日(金)

株式会社船井総合研究所 東京本社(八重洲)

〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号

東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー35階

※[2024年4月1日]より八重洲に移転し、開催いたします。ご来場の際はご注意ください。

開催時間: 14:30~17:30(受付開始 14:00~)

受講料

一般価格 税抜 25,000円(税込 27,500円)/一名様

会員価格 税抜 20,000円(税込 22,000円)/一名様

●会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込みに適用となります。

講座

第1講座

セミナー内容

自動車販売店におけるWeb集客のトレンド

Web広告費がスマートフォンの広告費を上回り、自動車業界も同様にWeb上の競争が増加しています。自動車業界の不正問題なども逆風になる中で新たな集客媒体の開拓を進めるべき理由をお伝えいたします。



株式会社船井総合研究所 モビリティ支援部 森田 光輝

第2講座

SNS集客を成功に導くために~モデル企業とのパネルディスカッション~

本日の特別ゲスト企業の株式会社エアストではSNSの専任体制や広告出稿など先進的な取り組みを進められています。代表取締役 石川博章氏・SNS担当者の小川瑛帆氏より、経営者・担当者視点でSNSに投資すべき理由をお話しいただきます。



株式会社エアスト 代表取締役 石川 博章 氏 小川 瑛帆 氏
株式会社船井総合研究所 モビリティ支援部 森田 光輝 平野 伽奈

第3講座

自動車販売店のSNS集客成功事例解説

どのように、株式会社エアストがSNSを活用し運用しているのか?株式会社エアストの小川瑛帆氏に登壇いただき自動車販売店が行うべきSNS運用を実際の事例を交えて徹底分解~解説し、再現性のあるモデルをお届けします。



株式会社エアスト 小川 瑛帆 氏
株式会社船井総合研究所 モビリティ支援部 平野 伽奈

第4講座

経営者に今決断してもらいたいこと

本日の講座を踏まえて、明日からSNSを駆使して業績アップに向かうために皆さまに意識していただきたいこと、決断をすべきことをお伝えいたします。



株式会社船井総合研究所 モビリティ支援部 マネージング・ディレクター 服部 崇

ご参加+個別相談
された会社様限定

自動車販売店向けInstagram
運用完全攻略マニュアルプレゼント!

個別相談は事業主・役員の方々に限ります

セミナーのお申込みはこちらから



[PCからのお申込み]

下記セミナーページからお申込みください。

<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/112614>

お申込みに関してのよくあるご質問は「船井総研FAQ」と検索してご確認ください。

船井総研セミナー事務局 (seminar271@funaisoken.co.jp) TEL: 0120-964-000 (平日9:30~17:30)

※お電話・メールでのセミナーお申込みは承っておりません。また、お問い合わせの際は「お問い合わせNo.とセミナータイトル」をお伝えください。



[QRコードからのお申込み]

右記QRコードから
お申込みください。



株式会社エアストは、なぜSNSに投資するのか？

～SNSへの投資で成長を実現している企業の経営者へ特別インタビュー～



株式会社エアスト 代表取締役 石川 博章 氏

愛知県・三重県にて届出済軽未使用車専門店を4店舗と輸入中古車専門店を1店舗展開。年商75億円、年間販売台数4,000台、年間車検台数9,000台の地域有力企業。「関わるすべての人に最幸な人生を」を経営理念として、SNSの先進的な取り組み・投資に加えて2023年には子ども向け室内遊び場を車販店舗2階にオープンするなど、まだ誰も挑戦したことのない自動車販売店を目指し続けている。

Web広告の強化で集客も順調ですが、一方でチラシ集客はピークを越え、費用対効果が悪化傾向。経営者としては次の一手に悩む状況でした。もちろんそのときにSNS市場の伸びは理解していましたから、周りの経営者仲間にいろいろ聞いてみてもそれで集客できている会社はまだいませんでした。結局から立ち上げることになるたまに腰を入れて担当者を設置しました。

石川社長、いつもありがとうございます。まずはSNSの変遷についてお伺いしたいです！

自動車業界でSNSはまだ主流の集客媒体ではない印象があるので、その中でSNSへの投資を判断された理由は何でしょうか。

「遅かれ早かれ、SNSに手を付けなければならない時代が来る」という動機です。自動車業界はオンラインよりも店舗でのビジネスが中心で、SNSの取り組みが大きく集客に貢献している企業はまだ少ないかも知れません。ただ近年自動車業界においては逆風になるニュースもあり、その中でSNSは自動車販売店の「リアル」を伝えられるツールとして活路を見出することができます。チラシやリストティング広告では、在庫や自社のサービスなどの

情報提供はできても、そこで働く社員の熱量や雰囲気は伝えられません。でもお客様は実はそこもかなり重要視されているのではないか。飲食店などは広告費をかけずともSNSで「バズって」集客ができるお店もあるわけですね。長期的には広告費を減らしてもSNSで集客できる会社と広告費がかさみ続ける会社に差ができると考えています。ただ、かくいう私はほぼSNSは利用していないのですが：（笑）

伸びている企業アカウントは社長が「顔出し」しているケースが多いと思いますが、社長は登場されないんですか？

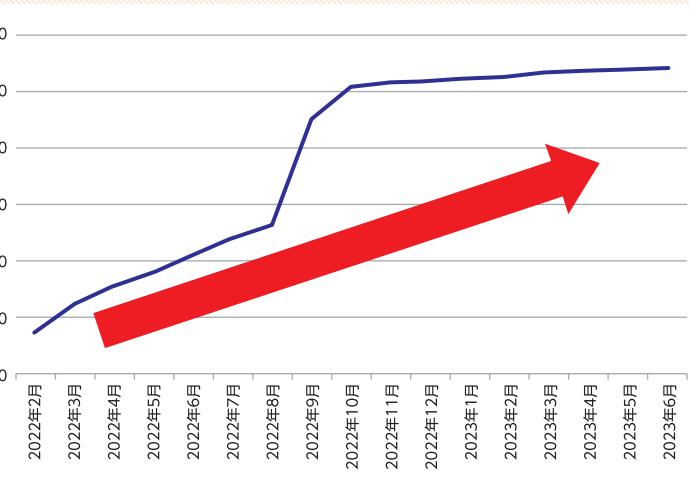
会社のSNSは私の所有物ではないですし、私自身が有名人になりたいわけではないのでしていません。社員はSNSに登場しているのですが、皆出たいから出ている、出ることによるリスクも了承しています。出たくない人を無理強いして出させる組織にはしたくないですし、出ている社員を守る動きも最大限したいと思っています。そのため個人にフォーカスが当たりすぎたり、素性をさらけ出す方向性にならないようにしています。伸びているアカウントの法則にはのつっていないので、



爆発的な伸びがあるかと問われるどないですが、弊社はお客様と長くお付き合いするJとを目指しているので、「コンテンツも誰に見せても恥ずかしくない、長く残るものがないと思っています。幸い方向性を示せばしっかりと動いてくれる社員がいるので、この「SNS実践のエントリーモデル」が出来上がりました。

SNSに投資してよかつたことを教えていただけますでしょうか。

SNS広告を出稿して「SNSを見て…」と仰る方の来場が増える、アカウントのフォロワー数が増え、という目に見える実績が出るとやはりよかったです。



実際のSNSの取り組みと事例についてお聞かせください。

SNS運用チームは月に一度のオンラインミーティングを実施し、

①実績の振り返り

②施策

③1ヶ月間の投稿計画

の3つを決めています。

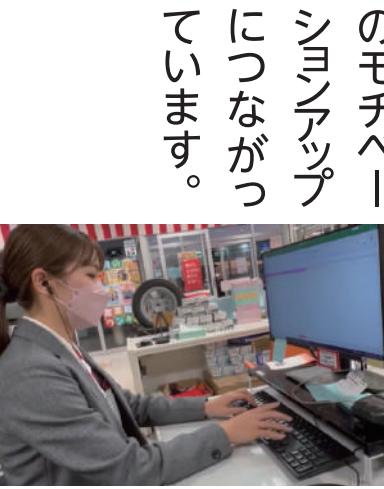
日付	曜日	投稿内容	カタゴリー	フィード・リール投稿数	フィード・リール投稿内容件数
3/1	金	新規販売車	カタゴリー	1	1
3/2	土	新規販売車	カタゴリー	1	1
3/3	日	新規販売車	カタゴリー	1	1
3/4	月	フィード	フィード	1	1
3/5	火	フィード	フィード	1	1
3/6	水	フィード	フィード	1	1
3/7	木	フィード	フィード	1	1
3/8	金	フィード	フィード	1	1
3/9	土	フィード	フィード	1	1
3/10	日	フィード	フィード	1	1
3/11	月	フィード	フィード	1	1
3/12	火	フィード	フィード	1	1
3/13	水	フィード	フィード	1	1
3/14	木	フィード	フィード	1	1
3/15	金	フィード	フィード	1	1
3/16	土	フィード	フィード	1	1
3/17	日	フィード	フィード	1	1
3/18	月	フィード	フィード	1	1
3/19	火	フィード	フィード	1	1
3/20	水	フィード	フィード	1	1
3/21	木	フィード	フィード	1	1
3/22	金	フィード	フィード	1	1
3/23	土	フィード	フィード	1	1
3/24	日	フィード	フィード	1	1
3/25	月	フィード	フィード	1	1
3/26	火	フィード	フィード	1	1
3/27	水	フィード	フィード	1	1
3/28	木	フィード	フィード	1	1
3/29	金	フィード	フィード	1	1
3/30	土	フィード	フィード	1	1
3/31	日	フィード	フィード	1	1

②の施策については新しいリアル動画のテーマを出し合ったりしているよ

うで、実際に投稿されているものは基本的に社員のアイディアから生まれるものになっています。ここまで決められていれば、大まかな投稿の型も決めているので属人化せずに運用できています。リール動画では整備関連の投稿は再生回数が伸びやすく

4・6万回再生以上され

た投稿もあり、社員の頑張りが見える点は担当者のモチベーションアップにつながっています。



SNSへの投資にまだ踏み切っていない会社様にメッセージをお願いします。

SNSの投稿をする、アカウントを育てるということは、チラシと異なりその週末の集客がすぐ増えるということではありません。特に私と同世代の自動車業界の経営者はSNSに馴染みがない方も多いのではないか

でしょうか。

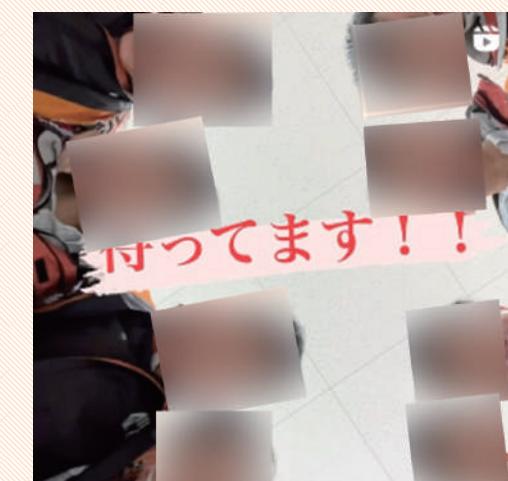
ただ、今回のインタビューでもお話ししたましたが、自動車業界もいつかはSNSへの着手しているか否かで大きな差が生まれるときが来ると考えています。そのときにアドバンテージを

種まきをする必要があるのではないかでしょう。今回弊社の取り組みをいろいろお話しいたしましたが、同じ経営者として、この冊子を読んだことで新しい投資を決断してくださる方がいらっしゃるのであればうれしいですね。

組織づくりの観点で苦労されたこともあります。それが、その時のエンジニアについてお伺いしたいです。

今のSNS運用体制はWeb担当者である小川を中心とした部店舗から1～2名ずつ社員を加えたチーム制ですが、初期は2名の事務職の社員で運用していました。苦労というと大きさかもしれません、が、2名ずつ社員を加えたチーム制ではあります。SNS運用担当者の離職や、SNS業務に対して周囲の社員からの理解が得られなかつたことが私も当人たちもつらかったかと思います。投稿のために私服でドライブしている動画やカフェに行っている写真が半ば遊びのように見えていたかもしません。

この離職をきっかけに各店に担当者を置くチーム制になりましたが、このメソッドは業務分担にとどまらず、SNS業務を間接的・継続力などの強みが発揮されている点が一つ目ですね。社員が新しい力でSNSを通じてこれまでの自動車販売業・整備業を通じてでは気づけなかった社員の発想力や継続力などの強みが発揮されています。SNS運用担当者の協力体制が強固になります。チーム制ではあります。が、「全社員チーム制」になっているのが今の体制の強みかもしれませんね。



チェックリストだけでは足りない事業主向けに

Instagram集客成功事例セミナーの 講座内容を少しだけご紹介

①経営者が今こそSNSに投資すべき理由がわかる

なぜいまSNSなのか…?

現在の自動車販売店のWebマーケティングを踏まえて投資すべき理由を解説いたします。



②SNS運用のリアルがわかるパネルディスカッション



特別ゲスト講師に株式会社エアストの代表取締役石川博章氏とWeb担当者的小川瑛帆氏を迎えるSNS運用において苦労したこと、よかつたことを包み隠さずお話しいただきます。

③実際に成功した取り組み事例徹底解説

実際の投稿を踏まえて実績やポイントについてお伝えいたします。



セミナー当日は、チェックリストをはじめ、SNS運用を実践に落とし込めるように、ゲスト企業の事例や取り組みを余すところなくお伝えする予定です。本セミナーにご参加いただいた事業主の方々が、自社の店舗や工場のSNS運用について取り組みを進める「きっかけ」を得ることができれば幸いです。東京にお読みいただいている事業主の方々にご挨拶できることを楽しみにしております。

株式会社船井総合研究所 平野 伽奈

本冊子をここまでお読みくださった方に

SNS運用を成功させるための チェックリスト大公開

特別インタビューをお読みいただきありがとうございました。

インタビューの中で、すでにSNSへ投資する必要性・重要性を感じている経営者がいらっしゃるという点が印象的だったのではないでしょうか。

「自社でもSNSを運用しているが担当者に任せきり」

「そもそも何から手を付ければよいかわからない」

上記のようにお考えの事業主の方々に向けて、経営者・SNS担当者・その他の社員がどのようにSNSに取り組むべき項目についてまとめました。このリストをご参考にしていただければ幸いです。

担当	項目	詳細
経営者	投資	SNS運用に際しての機材・編集アプリ・社外撮影費用・SNS広告費などへの投資
	組織	担当者の任命・SNS運用チームの発足
	組織	SNS担当者の評価テーブル決め
	施策	SNSアカウントのコンセプトをSNS担当者と一緒に決める
SNS担当者	組織	SNS運用チームの統括
	組織	月に1度以上のミーティング体制構築
	施策	月間の投稿計画を制定
	施策	週次で投稿・アカウントの数値確認
	施策	数値に基づいて次の施策の実施
その他社員	効果測定	来場者に対してSNS閲覧有無のヒアリング
	施策	既存顧客へのアカウントフォロー促進
	施策	撮影・投稿への協力体制